

ネオパネル™2

形QJ-1301

■概 要

本製品（形番QJ-1301）は、VAVコントローラ（形番WJ-1201）・FCUコントローラ（形番WJ-1202）・ジェネラルコントローラ（形番WJ-1111）などのリモートユニット用ユーザターミナルです。

空調入切・温度設定・風量設定などの空調機器の各種操作ができます。また外気温度表示・降雨中などの情報を表示します。

本製品は温度センサを内蔵しているため、別途温度センサを設置することなく、室内温度の計測・表示・室内温度を使用して温度制御ができます。*

* 本製品に内蔵している温度センサによる計測温度は、設置状況により壁面温度の影響を受けることがあります。

補助部品であるサーモプレートを併用することにより、計測温度への影響を減少できます。

既存で横形のネオパネル（形番QY7215）が設置されている場合、横形アタッチメントにて本製品の取り付けが可能です。



形番QJ-1301S0

形番QJ-1301S1

■特 長

- 操作
静電容量スイッチを採用しており、ボタンのないフラットなデザインです。
空調入切・温度設定・風量切替などの操作が行えます。
グループ一括操作ができます。
- 表示
液晶画面の文字が大きく、シンプルな表示で直感的に操作できます。
外気温度表示・降雨情報を表示できるので室内から屋外の情報を確認できます。
- カラーバリエーション
白と黒のカラーバリエーションがあり、室内に合わせて選択ができます。

安全上の注意

ご使用前に本説明書をよくお読みのうえ、仕様範囲内で使用目的を守って、正しくお使いください。
お読みになったあとは、本説明書をいつでも見られる所に必ず保管し、必要に応じ再読してください。

使用上の制限、お願い

本製品は、一般機器での使用を前提に、開発・設計・製造されています。

本製品の働きが直接人命にかかわる用途および、原子力用途における放射線管理区域内では、使用しないでください。一般空調制御用として本製品を放射線管理区域で使用する場合は、弊社担当者にお問い合わせください。

特に ・人体保護を目的とした安全装置 ・輸送機器の直接制御(走行停止など) ・航空機 ・宇宙機器など、安全性が必要とされる用途に使用する場合は、フェールセーフ設計、冗長設計および定期点検の実施など、システム・機器全体の安全に配慮した上で、ご使用ください。

システム設計・アプリケーション設計・使用方法・用途などについては、弊社担当者にお問い合わせください。

なお、お客様が運用された結果につきましては、責任を負いかねる場合がございますので、ご了承ください。

■ 計装設計上のお願い

万が一、本製品に故障などが生じた場合を考慮し、システム・機器全体の安全設計を実施してください。

■ 設計推奨使用期間について

本製品については、設計推奨使用期間を超えない範囲でのご使用をお勧めします。

設計推奨使用期間とは、設計上お客様が安心して製品をご使用いただける期間を示すものです。

この期間を超えると、部品類の経年劣化などから製品故障の発生率が高まることが予想されます。

設計推奨使用期間は、弊社にて、使用環境・使用条件・使用頻度について標準的な数値などを基礎に、加速試験、耐久試験などの科学的見地から行われる試験を行って算定された数値に基き、経年劣化による機能上支障が生ずるおそれが著しく少ないことを確認した時期までの期間です。

本製品の設計推奨使用期間は、10年です。

なお、設計推奨使用期間は、寿命部品の交換など、定められた保守が適切に行われていることを前提としています。

製品の保守に関しては、『■ 保守』を参照してください。

■ 「警告」と「注意」



警告

取り扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険の状態が生じることが想定される場合。



注意

取り扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うか、または物的損害のみが発生する危険の状態が生じることが想定される場合。

■ 絵表示



記号は、危険の発生を回避するために特定の行為を禁止する場合に表示（左図は分解禁止の例）。



記号は、危険の発生を回避するために特定の行為を義務付けする場合に表示（左図は一般指示の例）。

△ 注 意



直射日光の当たる場所では使用しないでください。
内部温度が上昇し、事故、故障の原因となります。



本製品は、本説明書に記載された仕様範囲内で取り付け・結線し、運用してください。
火災や故障のおそれがあります。



取り付けや結線は、計装工事、電気工事などの専門の技術を有する人が行ってください。
施工を誤ると、火災や感電のおそれがあります。



本製品を取付後、本体がぐらつかないことを確認してください。
落下や故障の原因になることがあります。



結線・保守は、本製品への電源を切った状態で行ってください。
感電や故障のおそれがあります。



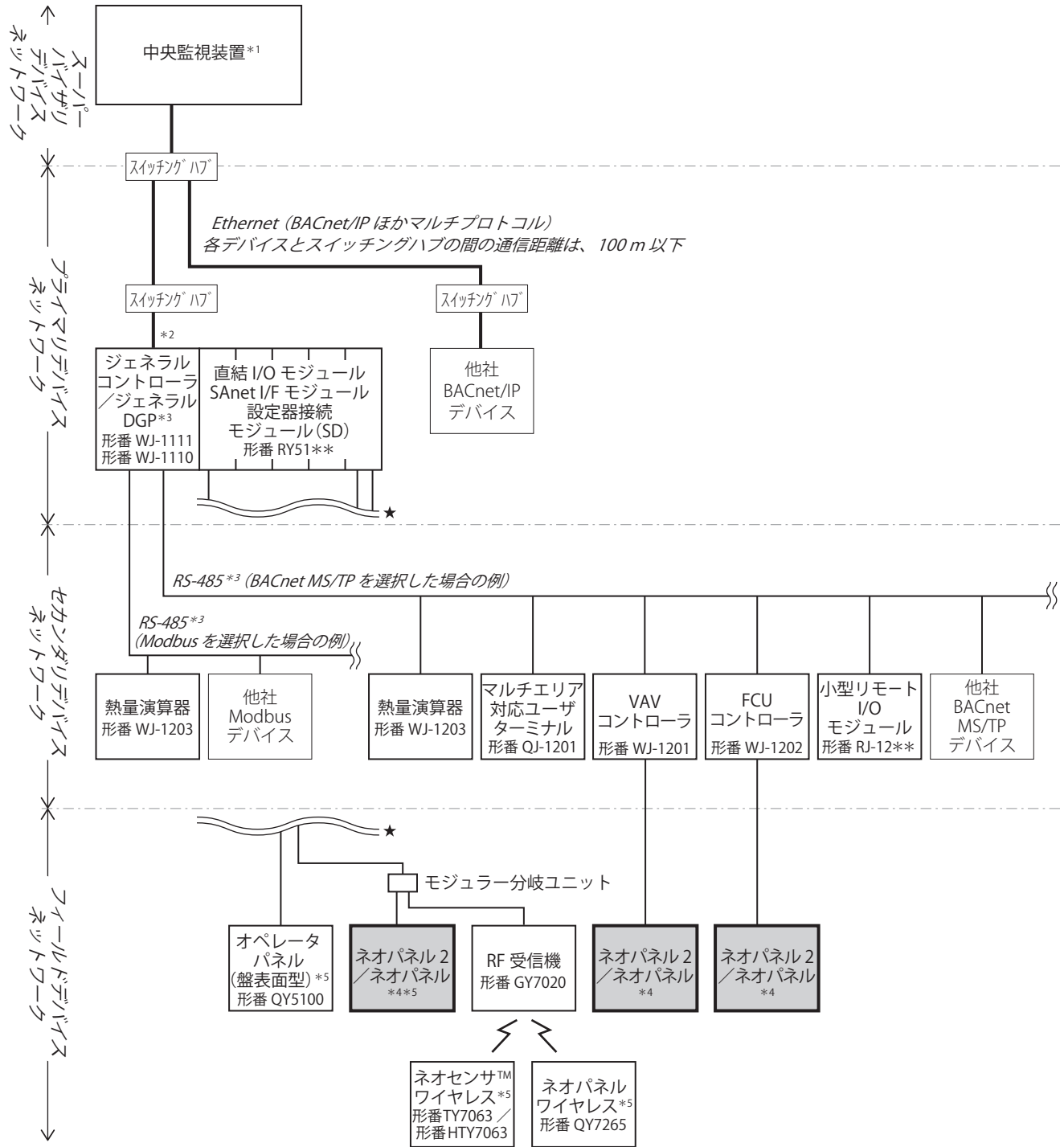
配線については、電気設備技術基準、内線規程などに従って施工してください。
施工を誤ると、火災のおそれがあります。



本製品を保管する場合は、梱包された状態で保管してください。
梱包がない状態で保管すると、汚損や破損の原因になることがあります。

重要 !! ・本製品に溶剤、油、洗剤などの薬品を付着させないでください。
ケース破損の原因となります。

■ システム構成



★：★は、★に接続します。

図1 システム構成例

- *1 弊社統合コントローラ（形番BH-101J0W0000）、またはBACnet/IP通信の他社の中央監視装置に接続できます。
- *2 ジェネラルコントローラ・ジェネラルDGPIは、IPv4またはIPv6によるBACnet/IP通信に対応します。
IPv6に関しては、BACnet2012（電気設備学会IEIEJ-G-D006:2017準拠）にBACnet2016のANNEXUを付加した仕様となっています。
- *3 ジェネラルコントローラ・ジェネラルDGPIは、RS-485幹線が2CHあります。
CHごとにBACnet MS/TP・Modbus RTU・Modbus ASCIIの通信プロトコルを選択できます。
- BACnet MS/TPの場合の接続台数
<自社デバイスのみ>
VAVコントローラ・FCUコントローラ・小型リモートI/Oモジュール・熱量演算器・マルチエリア対応ユーザターミナルなど（注記）ジェネラルDGPIは、VAVコントローラとFCUコントローラとマルチエリア対応ユーザターミナルが接続できません。
接続台数：50台/CH
ジェネラルコントローラの場合は、コントローラあたりセカンダリデバイス最大70台、自社VAVコントローラ+自社FCUコントローラ最大50台という制約があります。
ジェネラルDGPの場合は、セカンダリデバイスは最大70台接続できます。
<他社デバイスのみ>
伝送速度76.8kbps、オブジェクト数30点/1デバイスの場合
接続台数：31台/CH
● Modbusの場合の接続台数（伝送速度76.8kbps、オブジェクト数30点/1デバイスの場合）
接続台数：31台/CH
他社デバイスの伝送速度やオブジェクト数が異なる場合や自社デバイスと他社デバイスを同一CHに混在させる場合は、接続台数が異なります。詳細は、弊社担当者にお問い合わせください。
- *4 ネオパネル2（形番QJ-1301）、またはネオパネル（形番QY7205／形番QY7215／形番QY7225）を接続できます。
- *5 設定器接続モジュール（SD）を接続することにより、オペレータパネル（盤表面型）やネオパネル2・ネオパネル・ネオプレート™・ネオセンサワイヤレス・ネオパネルワイヤレスを接続できます。
また、オペレータパネル（一体型）を接続することにより、ネオパネル2・ネオパネル・ネオプレート・ネオセンサワイヤレス・ネオパネルワイヤレスを接続できます。
（参照）『AI-7530 オペレータパネル（盤表面型）、オペレータパネル（一体型）形QY5100W0000、形RY5101Q0000 仕様・取扱説明書』

■ 形 番

形 番					内 容
QJ-1301S					ネオパネル2
	0				色：ホワイト
	1				色：ブラック
		1			アドレス1
		2			アドレス2
			0		ロゴあり
			1		ロゴなし
				0	固定

● 別途手配品

形 番	内 容
DY7203A0000	モジュラー分岐ユニット
84519514-001	サーモプレート（ホワイト）
84519514-002	サーモプレート（ブラック）
84519515-001	横形アタッチメント（ホワイト）*

* 既存で横形のネオパネル（形番QY7215）が設置されている場合、横形アタッチメントにて本製品の取り付けが可能です。

■ 仕 様

項 目			仕 様	
電源仕様	入力電圧		DC7.2 V～14.0 V（上位コントローラより供給）	
	消費電力		0.4 W	
CPU			32 bit	
表示			LCD（TN液晶・1/4Duty・反射形）	
操作			静電容量スイッチ	
温度計測	検出素子		温度センサIC	
	計測範囲		0～40℃	
	計測精度		±1.0℃*1（ただし、コントローラにてゼロ微調可）	
	精度保証範囲		5～40℃	
通信	伝送形式		受信：調歩同期方式 送信：クロック同期方式	
	伝送速度		100 bps	
	伝送距離		50 m以下	
	接続台数		2台	
主要部材質	ケース、ベース		PC樹脂（難燃 UL94 V-0）	
質量			約90 g	
環境	動作条件	周囲温度	0～40℃	
		周囲湿度	10～75 %RH（結露なきこと）	
		振動	3.2 m/s ² 以下（10～150 Hz）	
	輸送・保管条件	周囲温度	－20～＋60℃	
		周囲湿度	5～90 %RH（結露なきこと）	
		振動（保管時）	3.2 m/s ² 以下（10～150 Hz）	
		振動（輸送時）	9.8 m/s ² 以下（10～150 Hz）	
	その他		● 直射日光が当たらないこと ● 水がかからないこと、結露しないこと ● 腐食性ガスのない環境であること	
	取付場所			室内壁面
	取付方法			ベース ： 取付ねじ 本体+ベース ： スナップフィット

*1 周囲環境を考慮しない、機器固有の精度です。

■ 配線仕様

項 目	推 奨	仕 様	最大配線長	接 続	備 考
電源、リモコンバス通信	—	EIA/TIA-568カテゴリ5e以上準拠LANケーブル* φ0.5 × 4P	50 m	モジュラーコネクタ	—

* 既設幹線の再利用を考慮して、EIA/TIA-568 カテゴリ3やカテゴリ5の使用もできます。

■ 外形寸法

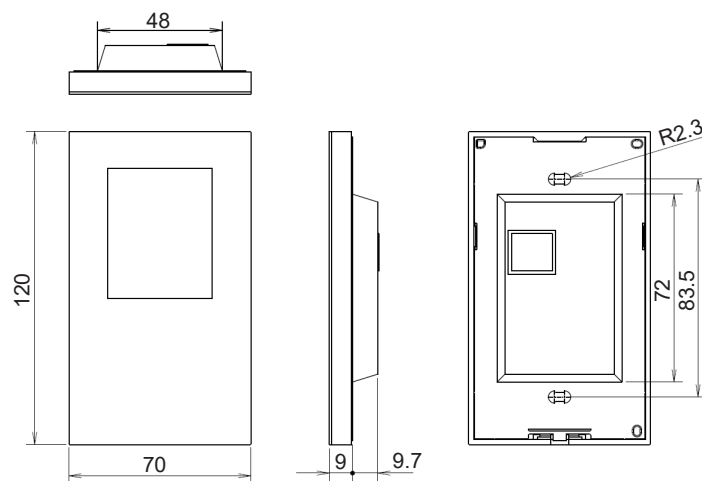


図2 外形寸法（単位：mm）

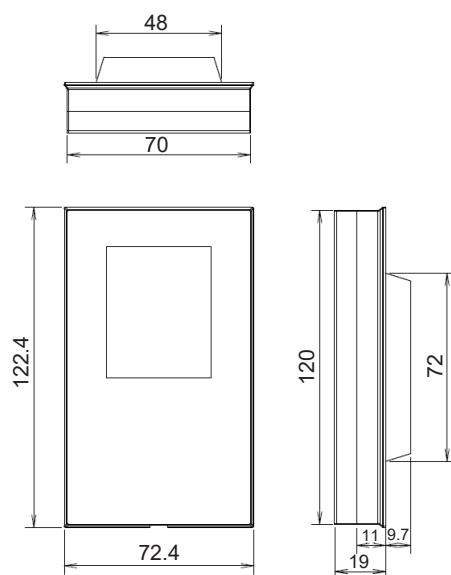


図3 本製品+サーモプレート（別途手配品）外形寸法（単位：mm）

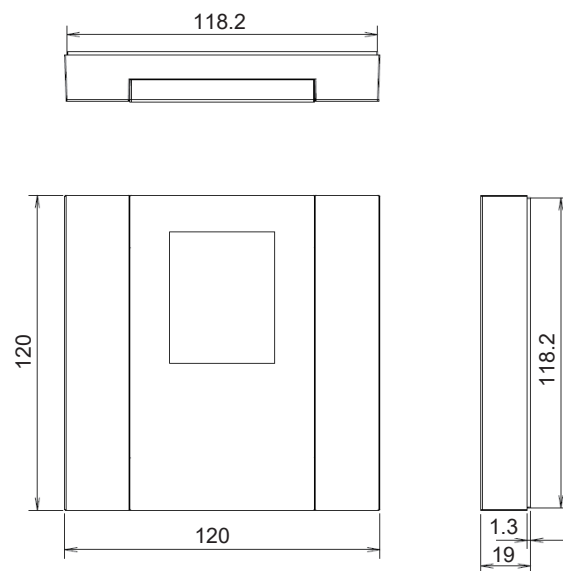


図4 本製品+横形アタッチメント（別途手配品）外形寸法（単位：mm）

■ 各部の名称

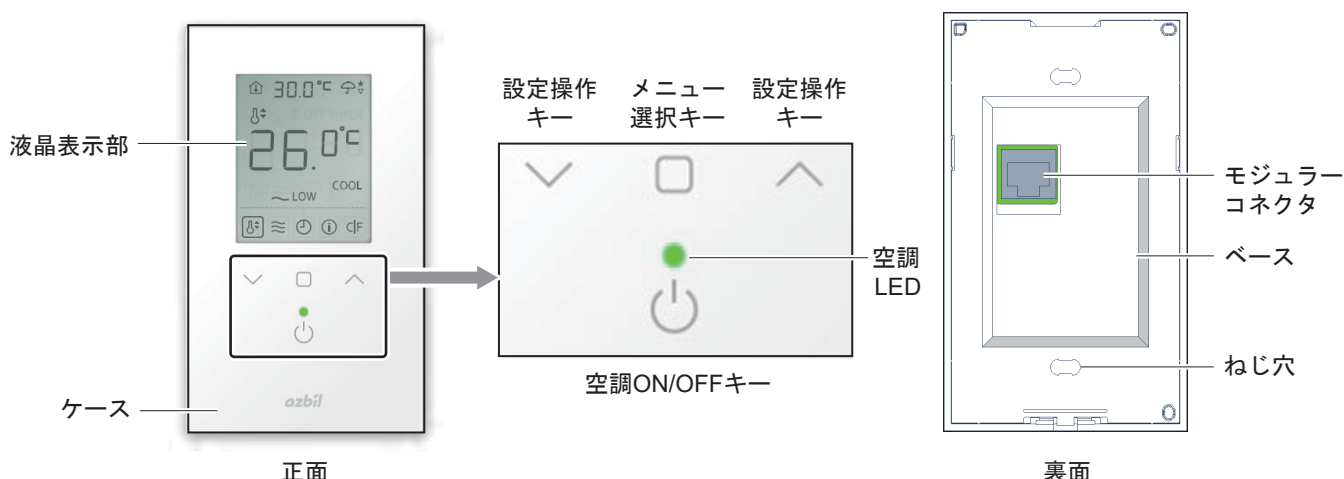


図5 各部の名称

■ 機能

機能	内容
運転／停止	空調ON/OFFキーで空調のON／OFFを切り替えることができます。空調ONの時は、LEDが緑に点灯、空調OFFの時は、LEDが消灯します。
メニュー切替	メニュー選択キーでメニューを切り替えます。選択されたメニューは、四角枠で囲まれます。設定可能なメニューは、温度設定／風量設定／タイマー設定／表示切替／単位切替です。
温度設定	設定操作キーを操作して、温度の設定を変更できます。
風量設定	設定操作キーを操作して、風量の設定を変更できます。設定可能な風量は、LOW／MID／HIGH／AUTOです。コントローラのキータイプの設定によります。
タイマー設定	設定操作キーを操作して、タイマーの設定を変更できます。
表示切替	設定操作キーを操作して、大表示画面・小表示画面の表示を切り替えることができます。切り替える内容は、コントローラのキータイプの設定によります。
単位切替	設定操作キーを操作して、温度の単位を切り替えることができます。（摂氏（℃）／華氏（°F））

■ 取付・結線

⚠ 注意	
	直射日光の当たる場所では使用しないでください。内部温度が上昇し、事故、故障の原因となります。
	本製品は、本説明書に記載された仕様範囲内で取り付け・結線し、運用してください。火災や故障のおそれがあります。
	取り付けや結線は、計装工事、電気工事などの専門の技術を有する人が行ってください。施工を誤ると、火災や感電のおそれがあります。
	本製品を取付後、本体がぐらつかないことを確認してください。落下や故障の原因になることがあります。
	結線・保守は、本製品への電源を切った状態で行ってください。感電や故障のおそれがあります。
	配線については、電気設備技術基準、内線規程などに従って施工してください。施工を誤ると、火災のおそれがあります。

● 取付場所

- 重要 !!**
- センサの取付場所は、制御に関係する重要な要因のひとつです。
十分に検討のうえ、取付場所を決めてください。
 - 次のような特別な制御精度が要求される用途では、内蔵センサを使用せず、別途温度センサを設置してコントローラに入力してください。
 - 工場、手術室、クリーンルーム、動物舎など
 - 室温の急激な変化に制御の追従性を要求される場合
 - 有機溶剤などの薬品雰囲気では、出力値がシフトするおそれがあります。
 - 腐食性ガスや有機溶剤などの被測定気体の成分が測定誤差や製品寿命の短縮、故障の原因となることがあります。
 - 本製品を上記のような特殊な環境で使用する場合は、弊社担当者にご相談ください。

本製品は、次のような壁面に取り付けてください。

- 居住空間の平均的な温湿度を示す（目安：床上約1.5 m）ところ。
- 周囲の風速は、0.1～0.15 m/s程度のところ。
- 前面にメンテナンスできるスペースのあるところ。

製品周囲は次に示すメンテナンススペースを確保してください。

- 縦方向
本製品の上側は、製品本体をややスライド気味に取り付けるため、10 mm以上空けてください。
製品本体を取り外す場合は、製品本体下部の穴へマイナスドライバを差し込むため、本製品の下側は200 mm以上のスペースを空けてください。
- 横方向
隣に他の突出物が設置される場合は、干渉しないようにしてください。

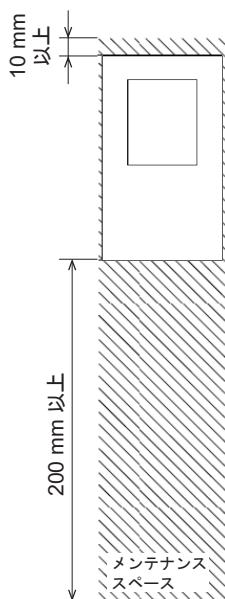


図6 メンテナンススペース

《設置壁面温度の影響について》

本製品は、意匠を重視した薄型の製品です。

このため、内蔵センサは製品表面から突出しておらず、設置壁面からあまり離れていません。

室温と壁温の差が大きいところ（時）は、設置壁面温度の影響を受けた設置壁表面付近温度を測定するため、室温と差が出ることがあります。

サーモプレート（別途手配品：形番84519514-001／84519514-002）を使用すると、設置壁面と内蔵センサの間隔が離れるため、計測温度と室温の差は減少されます。

例えば、次のような設置状況の場合は、別途、外部センサを接続することをお勧めします。

- 室内の気流分布が悪く、設置壁面まで空気が到達しにくい場合
- 設置壁の熱容量が大きい場合
壁が厚い（t50 mm以上）、コンクリートや石膏ボードなどの材質であるなど
- 設置壁背面の温度と室温の差が大きい場合
（設置壁背面が外気温度に近い空気の流動があるエレベータのシャフトや廊下など）
- 設置壁の背面が外気（屋外）に接している場合
- 空調が24時間系統ではなく、空調立ち上がり時に急激な温度変化がある場合
（冬場の空調停止後室温が極端に下がり、立ち上がり時に急激に温度が上がる。夏場はその逆に、室温が極端に上がり、空調立ち上がり時に急激に温度が下がる。）

● 取付禁止場所（壁面）

本製品は、次のような場所には取り付けないでください。

- OA機器の発熱などによる熱のふきだまりがあるところ。
- 家具やドアなどにより空気の循環が妨げられるところ。
- すき間風、吹き降ろし、水管やダクトからの冷風、または温風の影響を受けるところ。
- 外気や日射の影響を受けやすいところ。
- 振動のあるところ。
- 本製品が結露するようなところ。
- 本製品に水滴が滴下するようなところ。
- 腐食性ガスや有機溶剤などの薬品雰囲気があるところ。
- 室内設置以外の用途（外気、ダクト内）

● 取付上の注意

- 製品本体内部に切り粉や電線くずが入らないようにしてください。
- 施工時は、取り付け面と製品本体との間にケーブルを挟み込まないようにしてください。
- 製品本体取り外し時は、取り扱いに注意してください。
- 壁内のアウトレットボックスなどからセンサ裏面に空気の流入がある場合は、シール材などを使用し、空気の流れが発生しないようにしてください。
- 製品前面を鉛直方向に取り付けてください。（水平方向には、取り付けないでください。）
- ボックスカバーが壁仕上り面より突き出さないようにしてください。
- アウトレットボックスに接続する電線管やボルトなどはボックス内部で製品に干渉させないでください。また、ボックス内部で配線部品にストレスを与えないでください。
- 壁（ボード）に開ける穴寸法が大きすぎると取付られないことや穴を製品で隠せなくなることがあります。穴寸法はボックスカバー凸部寸法（約56 mm×92.5 mm）以上かつ、60 mm以下×100 mm以下にしてください。
- 取付ねじを強く締めすぎると、製品本体が変形するおそれがあるため、製品本体を変形させるほど強く締めないようにしてください。
- 横形アタッチメントを使用する場合は、取付ねじの締め付けが緩いとプレートがスライドしてしまうため、緩めすぎないようにしてください。
- 電源投入時（モジュラーケーブル接続時や接続先コントローラの電源投入時など）に操作キーに触れないようにしてください。
操作キーに触れてしまってキーがきかない場合は、10秒程度経ってから再度操作を行ってください。

● 取付方法

《取付構成》

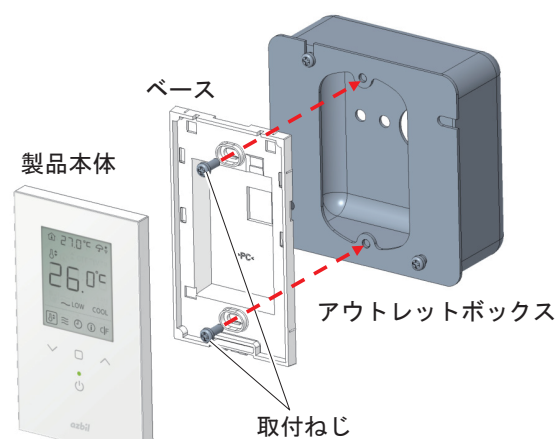


図7 取付構成

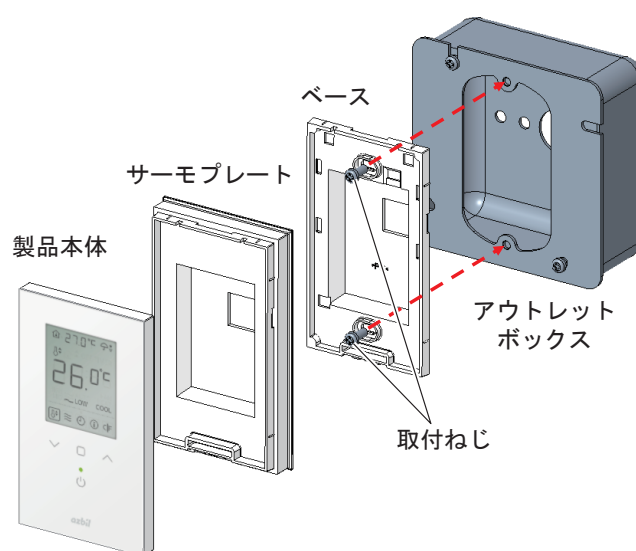
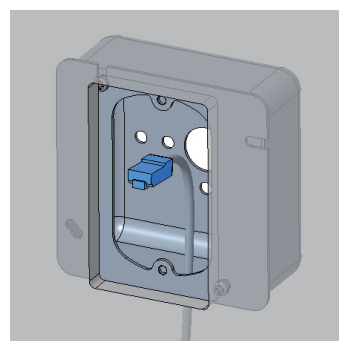


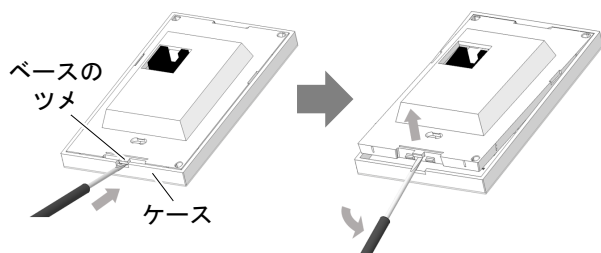
図8 取付構成（本製品+サーモプレート）

《取付方法（本製品）》

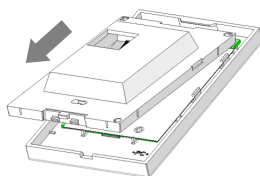
- (1) モジュラーケーブルをアウトレットボックスから引き出します。



- (2) 製品本体からベースを外します。
 本体裏面下側にあるベースのツメとケースの隙間にマイナスドライバを差し込み、下図のようにしてベースを持ち上げてツメを外します。

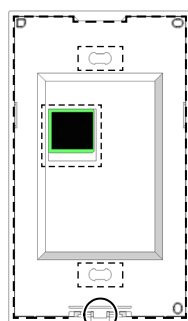


ベース側面を手でつかみケースから取り外します。



(注記)

- マイナスドライバを差し込むときには上図のとおり差し込んでください。指示と異なる隙間や穴に差し込んでベースを外そうとすると故障や破損のおそれがあるので注意してください。
- マイナスドライバは先端幅が6 mm以下のものを使用してください。
- マイナスドライバの押し込み力が強すぎると破損するおそれがあるので注意してください。

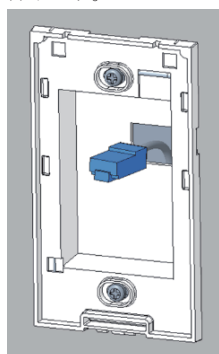


鎖線の隙間や穴に
マイナスドライバを
差し込まない

差し込む箇所

- (3) ベースにモジュラーケーブルを通し、取付ねじ (M4, ねべ小ねじ) 2本でアウトレットボックス (P=83.5 mm) に固定します。

(注記) サーモプレート使用時には、手順(3)を実施したあとにサーモプレートの開口部にモジュラーケーブルを通した状態にします。
 手順(5)を参考にしてベースの上にサーモプレートを取り付けます。

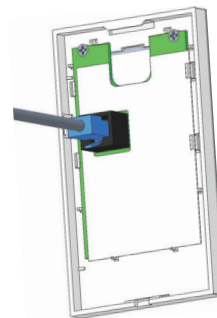


- (4) モジュラープラグ (オス) を製品本体裏面のモジュラーコネクタ (メス) に差し込みます。

(注記) 1.モジュラーケーブル接続時に操作キーに触れないようにしてください。

操作キーに触れてしまってキーがきかない場合は、10秒程度経ってから再度操作を行ってください。

2.モジュラーケーブル接続時に、モジュラーコネクタ (メス) の電極部に触れないようにしてください。



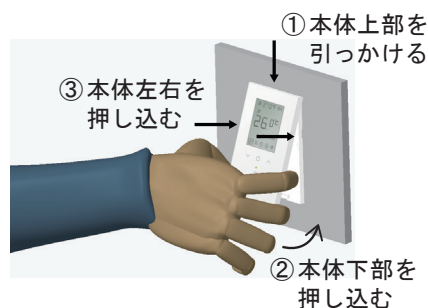
- (5) 製品本体を取り付けます。

① 結線した状態で、製品本体上部の凸部をベースの凹部に引っ掛け、② 製品本体下部を壁へ向けてカチッと手応えがあるまで押し込みます。

③ 本体左右を押し込みます。

(注記) 1.壁を傷つけないように注意する。

2.本体下部を押し込むときにプラグのツメと本体ベースが干渉しないように注意してください。



《取付構成 (本製品+横形アタッチメント) 》

* 既存で横形のネオパネル (形番QY7215) が設置されている場合、横形アタッチメントにて本製品の取り付けが可能です。

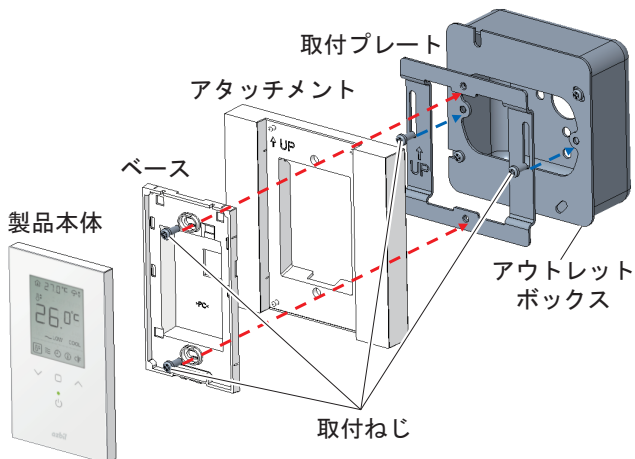
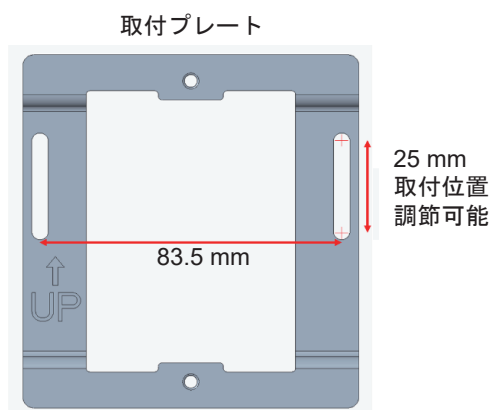
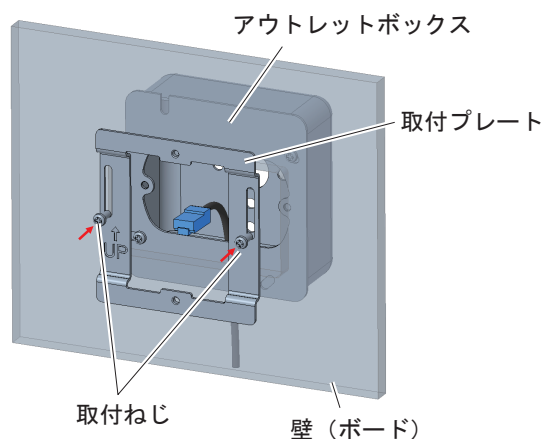


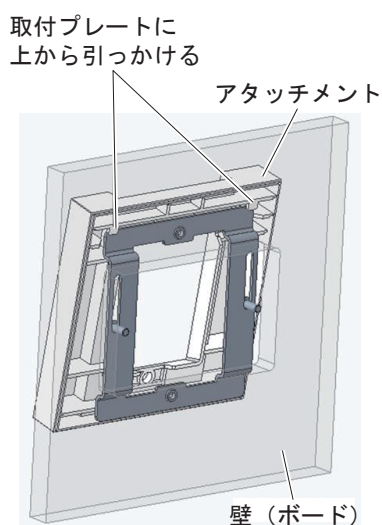
図9 取付構成 (本製品+横形アタッチメント)

《取付方法（本製品+横形アタッチメント）》

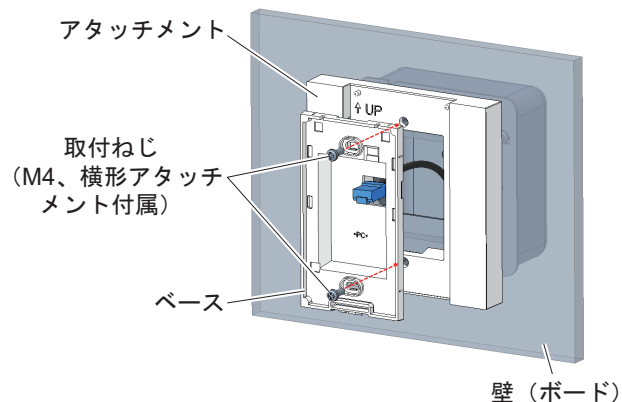
- (1) モジュラーケーブルをアウトレットボックスから引き出します。
取付プレートを取付ねじ（M4, 平小ねじ）2本でアウトレットボックス（P=83.5 mm）に固定します。



- (2) アタッチメント裏側のツメを取付プレートに引っかけてアタッチメントをプレートに取り付けます。



- (3) 《取付方法（本製品）》（2）と同様にして、製品本体からベースを外します。
ベースと取付プレートで挟むようにして、付属の取付ねじ（M4、横形アタッチメント付属）2本でアタッチメントを取り付けます。

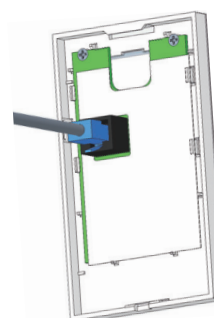


- (4) モジュラープラグ（オス）を製品本体裏面のモジュラーコネクタ（メス）に差し込みます。

（注記）1.モジュラーケーブル接続時に操作キーに触れないようにしてください。

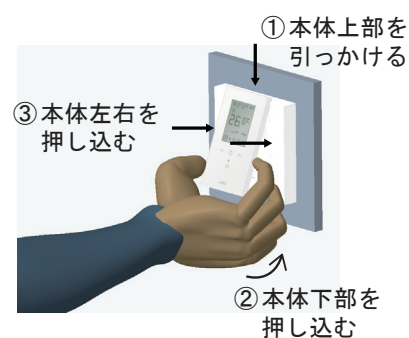
操作キーに触れてしまってキーがきかない場合は、10秒程度経ってから再度操作を行ってください。

2.モジュラーケーブル接続時に、モジュラーコネクタ（メス）の電極部に触れないようにしてください。



- (5) 製品本体を取り付けます。
① 結線した状態で、製品本体上部の凸部をベースの凹部に引っ掛け、② 製品本体下部を壁へ向けてカチッと手応えがあるまで押し込みます。
③ 本体左右を押し込みます。

（注記）本体下部を押し込むときにプラグのツメと本体ベースが干渉しないように注意してください。

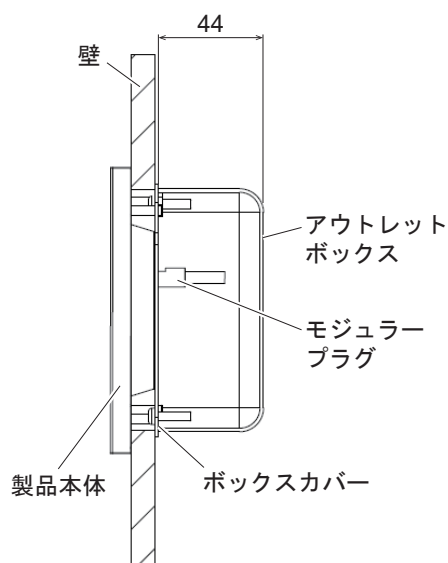


《新設・既設置換時共通》

モジュラーケーブルを次の図の向きに搭載してるため、浅いタイプのアウトレットボックスには適応できません。

アウトレットボックスは、【JIS C 8340 (1999)】によるカバー付アウトレットボックス（ボックス奥行44 mm以上のタイプのもの）を使用してください。

アウトレットボックスを（取付ねじが届く範囲内で）壁より十分奥に設置し、奥行寸法が確保できる場合はこの限りではありません。

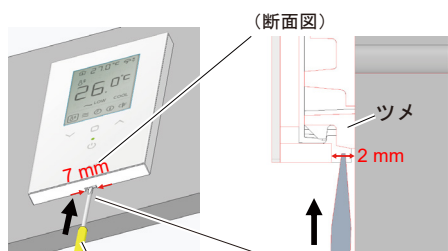
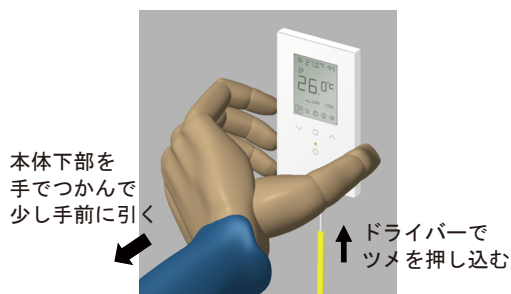


（単位：mm）

図10 製品本体後部、アウトレットボックス内寸法（参考）

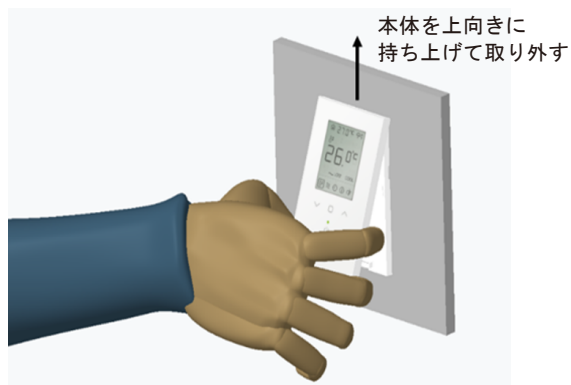
● 取外し方法

- (1) ① 製品本体下部の穴にマイナスドライバーをできる限り壁に対して平行に差し込んで内部のツメを押し込みながら、本体下部を手でつかんで少し手前に引き、ツメを外します。



マイナスドライバーはできる限り壁と平行に差し込む

- ② 製品本体を上を持ち上げると壁から取り外せます。



- （注記）1. マイナスドライバーは先端幅が6 mm以下のものを使用してください。
2. マイナスドライバーの押し込み力が強すぎると破損するおそれがあるので注意してください。
3. マイナスドライバーで壁を傷つけるおそれがあるので注意してください。
4. 本体下部を手前に引いてツメを外すときに、本体上端の角部で壁を傷つけないように注意してください。

- (2) モジュラーコネクタからモジュラープラグを外します。

（注記）モジュラーケーブルを外す時に、モジュラーコネクタ（メス）の電極部に触れないようにしてください。

● 結 線

ストレートのモジュラーケーブルを使用します。モジュラーコネクタピン配列は次のとおりです。

表1 モジュラーコネクタピン配列

ピン番号	内 容
CN1-1	電源＋ 製品仕様DC7.2 V～14 V
CN1-2	電源－ GND
CN1-3	Tx （通信：ネオパネル2→上位コントローラ）
CN1-4	N.C
CN1-5	Rx （通信：ネオパネル2←上位コントローラ）
CN1-6	（上位コントローラネオパネル2接続検出）
CN1-7	（上位コントローラネオパネル2接続検出）
CN1-8	N.C

■ 操作内容

操作可否は、接続されるシステム構成によります。

表2 操作内容

機 能	内 容	操作／表示	備 考
運転/停止操作	VAV、またはファンコイルユニットなどの運転/停止を行います。	「空調ON/OFFキー」を押します。 運転中は、「空調LED」が緑色に点灯します。	● 本設定器と中央監視からの運転/停止操作は、後押し優先 ● 中央監視から本設定器の運転/停止操作を禁止できる ● 「セットバック操作」との併用は不可
温度設定操作	設定温度を変更します。	「メニュー選択キー」で温度設定メニューに切り替えたあと、「設定操作キー」を押します。 液晶表示部の温度設定表示が変更されます。	● 本設定器と中央監視からの設定温度の変更操作は、後押し優先 ● 中央監視から温度設定値の上下限値を指定できる ● 2設定方式に対応可能^{*1}（FCUコントローラ、VAVコントローラ、Inflex™ FC、Inflex VC接続時）
セットバック操作	セットバック運転 ^{*2} への切り替えを行います。	「空調ON/OFFキー」を押します。 セットバック運転中は「空調LED」が消灯します。	● 本設定器と中央監視からのセットバック操作は、後押し優先 ● 中央監視から本設定器のセットバック操作を禁止できる ● 「運転/停止操作」との併用不可
風量切替操作	ファンコイルユニットの風量（自動/L/M/H）を切り替えます。	「メニュー選択キー」で風量設定メニューに切り替えたあと、「設定操作キー」を押します。 ^{*3} 液晶表示部の風量表示が変更されます。	● 本設定器と中央監視からの風量切替は、後押し優先
延長運転操作	VAV、またはファンコイルユニットのタイムスケジュールによる停止時刻を延長します。	「メニュー選択キー」でタイマーメニューに切り替えると、液晶表示部に空調停止時刻が現れます。 「設定操作キー」を押すと、停止時刻が変更されます。 タイマー設定の上下限ステップは、コントローラのパラメータの「時刻設定ステップ」の設定によります。	● 延長前のスケジュールは、中央監視から設定
表示切替操作	液晶表示部の表示内容を切り替えます。	「メニュー選択キー」で表示切替メニューに切り替えたあと、「設定操作キー」を押します。 液晶表示部の内容が次の内容に切り替わります。 ^{*3} ・大表示（室温設定／室内温度／時刻／ブランク） ・小表示（外気温度／室内温度／ブランク）	
温度単位切替操作	液晶表示部の温度表示の単位を切り替えます。	「メニュー選択キー」で単位切替メニューに切り替えたあと、「設定操作キー」を押します。 液晶表示部の温度単位が摂氏と華氏の間で切り替わります。	
グループ管理	複数のVAV、またはファンコイルユニットをまとめて発停・温度設定などを行います。		● 本製品から操作するグループの単位は、中央監視のグループの単位と一致させること

(注記) 使用中に操作キーがきかない場合は、10秒程度経ってから再度操作を行ってください。

^{*1} 2設定方式とは、冷房設定と暖房設定を別にもつ設定方式です。

^{*2} セットバック運転とは、設定温度を変更することにより省エネルギー運転を行う機能です。

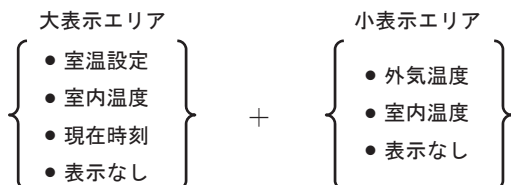
^{*3} 切り替える内容は、コントローラの「キータ입」の設定によります。

■ 調 整

本製品の機能のうち、次の項目については、コントローラのパラメータ設定により変更できます。パラメータ設定の操作については、各コントローラの『調整説明書』を参照してください。

(1) 常時表示内容

常時表示する内容の組み合わせを次の中から選択できます。



(2) 空調状態表示

冷房・暖房・送風の状態を表示する／しないを指定できます。

■ 取扱上の注意

製品出荷時は、製品表面にシート保護用のフィルムを貼っています。

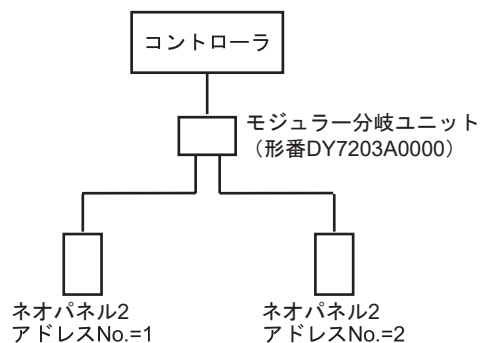
使用開始時に、シート保護用のフィルムをはがしてください。

● 本製品2台接続の場合

本製品は、コントローラに2台まで接続できます。ネオパネル（形番QY7205／形番QY7215／形番QY7225）、またはRF受信機（形番GY7020）の混在もできます。

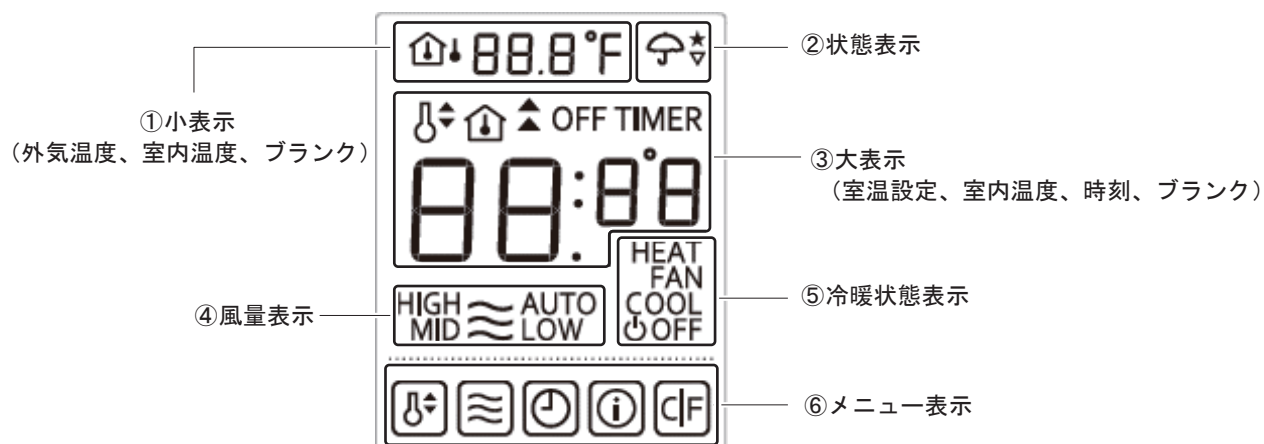
このとき、次に示すことに注意してください。

- モジュラー分岐ユニット（形番DY7203A0000）が必要です。
- 2台目のネオパネル2は、アドレスNo.2（形番QJ-1301S*2**）を接続してください。同一のアドレスNo.のネオパネル2を2台組み合わせても、正しい動作ができません。アドレスNo.を確認し、組み合わせてください。アドレスNo.は、ネオパネル2の梱包箱と本体裏面の銘板に記載されています。



- (注記) 1.発停・温度設定・風量切替は、2台のネオパネル2からの後押し優先となります。
- 2.アドレスNo.=2のネオパネル2は、温度計測機能は無効です。

表示



表示箇所	表 示	用 途
①小表示		室内温度
		外気温度
	88.8	外気温度、室内温度表示
	°C°F	単位
②状態表示		降雨中
	★	イニシャル中
	▽	通信停止
③大表示		温度設定
		室内温度
	▲	データ送信中
	OFF TIMER	タイマー設定時、タイマー設定中
	88.8	室温設定、室内温度
	88:88	時刻、タイマー表示
	°C°F	単位
④風量表示	AUTO	風量設定：自動
	LOW	風量設定：弱
	MID	風量設定：中
	HIGH	風量設定：強
	～	風量：弱
	≡	風量：中
	≡≡	風量：強
⑤冷暖状態表示	HEAT	暖房
	FAN	送風
	COOL	冷房
	⏻OFF	空調停止
⑥メニュー表示		温度設定
	≡	風量切替設定
	⌚	タイマー設定
	ⓘ	表示切替（大表示と小表示）
	C F	単位切替（摂氏と華氏）

■ 保 守

⚠ 注 意



保守作業は、本製品への電源を切った状態で行ってください。
感電や故障のおそれがあります。

重要 !! ●本製品を分解しないでください。
故障の原因になることがあります。

● 保守

- 特別な保守は、不要です。
- 動物飼育室や手術室などに取り付けられている場合は、その室内を消毒するときに、本製品に養生カバーを着けてください。
- 交換時は、製品全体での交換になります。

● お手入れ

表示部や操作部などが汚れたときは、柔らかく乾いた布で軽く拭き取ってください。
このとき、洗剤や有機溶剤などは使用しないでください。傷がついたり、変色・変形することがあります。

■ 廃 棄

本製品が不用になったときは、産業廃棄物として各地方自治体の条例に従って適切に処理してください。
また、本製品の一部または全部を再利用しないでください。

ネオセンサ、ネオパネル、ネオプレート、Inflexはアズビル株式会社の商標です。
BACnetは、ASHRAEの商標です。
Ethernetは、富士フイルムビジネスイノベーション株式会社の商標です。
Modbus is a trademark and the property of Schneider Electric SE, its subsidiaries and affiliated companies.

アズビル株式会社 ビルシステムカンパニー

azbil

[ご注意] この資料の記載内容は、予告なく変更する
場合もありますのでご了承ください。

お問い合わせは、コールセンターへ

0120-261023

<https://www.azbil.com/jp/>

ご用命は、下記または弊社事業所までお願いします。